

ル子なぞち御者をエサイにつかしてひける羊をかゝ汝の子ダビデをわがもど奉還させよ エサイ
 子なぞち驢馬にパンを負せ一囊の酒と山羊の羔を執りてこれを其子ダビデの手によりてサウルにおく
 り だビデサウルの計にいたりて其妻サウル大にこれを歎し其武器を執る者さす サウル人
 をエサイおつたしてひけるにねがはくハダビデをしてわが前に事へしめよ彼ハわが心になり
 神より出たる悪鬼サウルも臨めるはだビデを執り手をもてこれを彈おサウル思さて惡之惡鬼の
 れをはなる

一 發にベリシ人其軍を集めて戰はんとせしニダも屬するシヨにわつちヨコシコシアセカ
 の問答るバダギヨも陣をさる サウルとイスラエルの八々集まりてエラの谷に陣をどりベリシ人
 のひて軍の陣列をたつ ベリシ人ハ此方の山わちイスラエルの彼方の山にたつ谷ハ其のひだあり
 時にベリシ人の陣よりガラのゴリアテと名くる挑戰者ひできたる其身の長六キニヒト半首ハ
 銅の盔を戴き身に鱗鱗の鐵甲を着たり其よろひの鋼のおもさハ五千シケルあり 是ハ歷にハ銅の
 着け肩の間ハ鋼の矛戰を負ふ 其槍の柄ハ樞の梁のごとく槍の鋒刃の鐵ハ六百シケルあり 權を執る者
 其前ハゆく エリアテイスラエルの諸行伍よばより云けるハ汝ハなんハ陣列をさして出きたる
 我ハベリシ人にして汝ハハサウルハ臣下ハあらず汝一人をえらみて我とてらわくだせ 其人ハ
 し我とたよかひて我をころすこととをえて我ら汝らの臣僕とならんざれば若し我かちてこれを殺さん汝ら
 我らの僕とありて我らに事公可し かくて此ベリシ人ハひけるハ我今ヨイスラエルの諸行伍を挑む一
 人をいだしして我と戰えしめよと 薩ウルもよビイスラエルハみへリシ人のこの言を聞き驚きて大に

4 母半六〇一十七節
 5 母半六〇一十八節
 6 母半六〇一十九節
 7 母半六〇二十節
 8 母半六〇二十一節
 9 母半六〇二十二節
 10 母半六〇二十三節
 11 母半六〇二十四節
 12 母半六〇二十五節
 13 母半六〇二十六節
 14 母半六〇二十七節
 15 母半六〇二十八節
 16 母半六〇二十九節
 17 母半六〇三十節
 18 母半六〇三十一節
 19 母半六〇三十二節
 20 母半六〇三十三節
 21 母半六〇三十四節
 22 母半六〇三十五節
 23 母半六〇三十六節
 24 母半六〇三十七節
 25 母半六〇三十八節
 26 母半六〇三十九節
 27 母半六〇四十節
 28 母半六〇四十一節
 29 母半六〇四十二節
 30 母半六〇四十三節
 31 母半六〇四十四節
 32 母半六〇四十五節
 33 母半六〇四十六節
 34 母半六〇四十七節
 35 母半六〇四十八節
 36 母半六〇四十九節
 37 母半六〇五十節
 38 母半六〇五十一節
 39 母半六〇五十二節
 40 母半六〇五十三節
 41 母半六〇五十四節
 42 母半六〇五十五節
 43 母半六〇五十六節
 44 母半六〇五十七節
 45 母半六〇五十八節
 46 母半六〇五十九節
 47 母半六〇六十節
 48 母半六〇六十一節
 49 母半六〇六十二節
 50 母半六〇六十三節
 51 母半六〇六十四節
 52 母半六〇六十五節
 53 母半六〇六十六節
 54 母半六〇六十七節
 55 母半六〇六十八節
 56 母半六〇六十九節
 57 母半六〇七十節
 58 母半六〇七十一節
 59 母半六〇七十二節
 60 母半六〇七十三節
 61 母半六〇七十四節
 62 母半六〇七十五節
 63 母半六〇七十六節
 64 母半六〇七十七節
 65 母半六〇七十八節
 66 母半六〇七十九節
 67 母半六〇八十節
 68 母半六〇八十一節
 69 母半六〇八十二節
 70 母半六〇八十三節
 71 母半六〇八十四節
 72 母半六〇八十五節
 73 母半六〇八十六節
 74 母半六〇八十七節
 75 母半六〇八十八節
 76 母半六〇八十九節
 77 母半六〇九十節
 78 母半六〇九十一節
 79 母半六〇九十二節
 80 母半六〇九十三節
 81 母半六〇九十四節
 82 母半六〇九十五節
 83 母半六〇九十六節
 84 母半六〇九十七節
 85 母半六〇九十八節
 86 母半六〇九十九節
 87 母半六〇百節

懼れたり 抑ダビデハかのベラレムコダのニツラダニサリと添つくる者の子なり此ハ八人の子お
 りしハサウルの世にハ年邁みてすでに老たり エサイの長子二人ゆきてサウルもまたかひて戰争わいつ
 其戰にいいで三人の子の名ハ長をニリアテといひ次をアビナダテといひ第三をシヤンマといふ ダビデ
 ハ季子にして其兄三人ハサウルにまたがへり ダビデハサウルに往來してベラレムにて其父の羊を牧
 ふベリシ人ハ四十日のおひだ朝夕近づきて前にたり 時にエサイ其子ダビデハひけるハ今汝の
 兄のために此燧燧一斗と此十のパンを取りて陣營に在る兄のどこかにいさぎゆけ また此十の鞍轡を
 りて其子夫の長におくり兄の鞍轡を賜て其返事をもちきたれど サウルと彼等もよビイスラエルの八
 皆ベリシ人となりてエラの谷にわたりき だビデ朝風くあきて羊をひどりの牧者ハあつてエサイの
 命せしごとく獵へゆきて直獵わいたるに軍勢いのでり行伍をさし歸渡をあげたり 是ハ加してイスラエ
 人陣列をたてて行伍を行伍相ひかえせたり だビデ其荷をおろして荷をよもる者の手わだ
 し行伍の中にはせゆきて兄の安否を問ふ だビデ彼等と俱に語れる時薩ウルベリシ人の行伍よりガラの
 べリシ人のゴリアテと名づくる彼の挑戰者のばりきたり前のことばのおどく言しハだビデを聞け
 り イスラエルの其人を見て皆逃て之をばおれ懼れたり イスラエルの八ハひけるハ汝らこのけ
 ばり來る人を見しハ誠にイスラエルを挑んでよりきたるあり彼をころすハハ王犬なる畜を以てこれ
 ぞとて其女子をこれにあへて其父の家にハイスラエルのの中に租税をまぬかれしめん だビデ其傍
 にたてる人々にかたりてひけるハ此ベリシ人をころしイスラエルの恥辱を雪ぐ人ハ如何なること
 をさすや此勳ハベリシ人の誰なればか汝ら神の軍を挑む 民をへばおどく答へていひけるハかれ

1 母半六〇一節
 2 母半六〇二節
 3 母半六〇三節
 4 母半六〇四節
 5 母半六〇五節
 6 母半六〇六節
 7 母半六〇七節
 8 母半六〇八節
 9 母半六〇九節
 10 母半六〇十節
 11 母半六〇十一節
 12 母半六〇十二節
 13 母半六〇十三節
 14 母半六〇十四節
 15 母半六〇十五節
 16 母半六〇十六節
 17 母半六〇十七節
 18 母半六〇十八節
 19 母半六〇十九節
 20 母半六〇二十節
 21 母半六〇二十一節
 22 母半六〇二十二節
 23 母半六〇二十三節
 24 母半六〇二十四節
 25 母半六〇二十五節
 26 母半六〇二十六節
 27 母半六〇二十七節
 28 母半六〇二十八節
 29 母半六〇二十九節
 30 母半六〇三十節
 31 母半六〇三十一節
 32 母半六〇三十二節
 33 母半六〇三十三節
 34 母半六〇三十四節
 35 母半六〇三十五節
 36 母半六〇三十六節
 37 母半六〇三十七節
 38 母半六〇三十八節
 39 母半六〇三十九節
 40 母半六〇四十節
 41 母半六〇四十一節
 42 母半六〇四十二節
 43 母半六〇四十三節
 44 母半六〇四十四節
 45 母半六〇四十五節
 46 母半六〇四十六節
 47 母半六〇四十七節
 48 母半六〇四十八節
 49 母半六〇四十九節
 50 母半六〇五十節
 51 母半六〇五十一節
 52 母半六〇五十二節
 53 母半六〇五十三節
 54 母半六〇五十四節
 55 母半六〇五十五節
 56 母半六〇五十六節
 57 母半六〇五十七節
 58 母半六〇五十八節
 59 母半六〇五十九節
 60 母半六〇六十節
 61 母半六〇六十一節
 62 母半六〇六十二節
 63 母半六〇六十三節
 64 母半六〇六十四節
 65 母半六〇六十五節
 66 母半六〇六十六節
 67 母半六〇六十七節
 68 母半六〇六十八節
 69 母半六〇六十九節
 70 母半六〇七十節
 71 母半六〇七十一節
 72 母半六〇七十二節
 73 母半六〇七十三節
 74 母半六〇七十四節
 75 母半六〇七十五節
 76 母半六〇七十六節
 77 母半六〇七十七節
 78 母半六〇七十八節
 79 母半六〇七十九節
 80 母半六〇八十節
 81 母半六〇八十一節
 82 母半六〇八十二節
 83 母半六〇八十三節
 84 母半六〇八十四節
 85 母半六〇八十五節
 86 母半六〇八十六節
 87 母半六〇八十七節
 88 母半六〇八十八節
 89 母半六〇八十九節
 90 母半六〇九十節
 91 母半六〇九十一節
 92 母半六〇九十二節
 93 母半六〇九十三節
 94 母半六〇九十四節
 95 母半六〇九十五節
 96 母半六〇九十六節
 97 母半六〇九十七節
 98 母半六〇九十八節
 99 母半六〇九十九節
 100 母半六〇百節

るやアザキルひけるハ王汝の靈魂ハ生くわれまらざるなり 王ひけるハこの少年ハたれの子あるか
 を尋ねよ 答ハアザキルを殺してかへれる賄アザキルこれを以きて其ハリシテ人の首級を手に
 もてらまき サウルはまへにつれゆきければ サウルかれにひけるハ若き人ト故ハたれの子あるやアザ
 キルト 答ハアザキルにたたることを終しよナクハ心ハアザキルにむすびつきてヨナタン
 ハこのれ命のぶどくアザキルを愛せり 此日サウルアザキルをかくして父の家にかへらしめず ヨナタン
 ハこのれ命のぶどくアザキルを愛せしかバヨナタンとアザキルをむすべり ヨナタンハこのれ命のぶ
 だるを以てアザキルにわたす其或表および其刀も肩も帯もまたかせり アザキル見テサウルハ遺はすど
 うにいでゆきて功をあらせしければサウルかれを兵隊の長となせり しかしてアザキル民の心にかなひ又サ
 ウルの僕にもかなふ 衆人かへりきたれば照すなまアザキルハリシテ人をころして還れる賄婦女
 スラエルの邑々よりいできたり 誰と誰と聲をもちて歌ひまひつり サウル王を迎ふ 婦人踊躍つり相
 たへて歌ひけるハサウルハ千をうち殺しアザキルハ萬をうちころすと サウル甚だ怒りこの言をよ
 ずしてひけるハ萬をアザキルに歸し千をわれに飯す此上かれにわたふべき者ハ唯國のみと サウル
 日よハ後アザキルを自がけたり 次日日神より出たる惡鬼サウルにのみてサウルの家のかにて預言した
 りしかバアザキル故のぶどく手をもつて琴を以けり 時にサウルの手に投槍ありけり 薩ハサウル我
 壁に刺せばさんといひて其投槍をさしわけし 爾アザキル二度身をかくしてサウルをさけたり 此
 カをばかれてアザキルにさすによりてサウル死をたうられたり 是故にサウル彼を遺さけて千夫長

ノ母七十節
 一母七十節
 二母七十節
 三母七十節
 四母七十節
 五母七十節
 六母七十節
 七母七十節
 八母七十節
 九母七十節
 十母七十節
 十一母七十節
 十二母七十節
 十三母七十節
 十四母七十節
 十五母七十節
 十六母七十節
 十七母七十節
 十八母七十節
 十九母七十節
 二十母七十節
 二十一母七十節
 二十二母七十節
 二十三母七十節
 二十四母七十節
 二十五母七十節
 二十六母七十節
 二十七母七十節
 二十八母七十節
 二十九母七十節
 三十母七十節
 三十一母七十節
 三十二母七十節
 三十三母七十節
 三十四母七十節
 三十五母七十節
 三十六母七十節
 三十七母七十節
 三十八母七十節
 三十九母七十節
 四十母七十節
 四十一母七十節
 四十二母七十節
 四十三母七十節
 四十四母七十節
 四十五母七十節
 四十六母七十節
 四十七母七十節
 四十八母七十節
 四十九母七十節
 五十母七十節

とナキアザキルアザキルを愛せり 又アザキルすべて其ゆくどろにて功をあらせし且エホバ
 かれどもにさせり サウルアザキルの大に功をあらせすをみてこれを惡れたり 志かれどもイスラエ
 ルとエホバの二人みなアザキルを愛せり 彼が其前も出入するによりてあり サウルアザキルにひけるハ
 わが長女メラヲを汝に妻にさん汝たわのため勇みエホバの軍に戦ふべし 其ハサウルわが手てのれ
 を殺さばアザキルの手にてころさんとおもひたれしなり 答ハアザキルにひけるハ我ハ誰がわが
 ハななわが父の家のイスラエルわがわが何ある者や 我わがわが王の婿となるべけん 然るにサウ
 ルの女子メラヲハアザキルを嫁にさすべし 答ハアザキルに妻にされたり サウルの女ミカ
 アザキルを愛す人これ王に告れバサウル其事を善しとせり サウルにひけるハ我ハミカルをかれにわた
 て汝を謀る手段となしアザキルの手てのれを殺さんといひてサウルアザキルにひけるハ汝今日ふた
 くびわが婿となるべし かくてサウル其僕に命をける 汝ら密にアザキルにたかりて言へ 王汝を憐
 王の僕みお汝を愛すされバ汝王の婿となるべし 答ハアザキルは僕此言をアザキルに語りしかバアザキル
 ひけるハ王の婿となること汝らの目は見事と事とみゆるや 且われハ貧しく賤しき者ありと サウルの僕
 サウルにつけてアザキルは是の如くかたりといへり サウルにひけるハアザキルは王の婿とせり
 禮を望まずたアザキルハの陽度一百をえて王の仇をむくいんことを望むは是ハサウルアザキルをべり
 二ハの手お婿とせり 答ハアザキルは是の如くかたりといへり サウルは僕此言をアザキルに語りしかバアザキル
 ことを善とせり 斯て其時いまだ憐むるわいだハ 答ハアザキル起て其僕者どもにゆきべり 二ハ二人をこ
 るして其陽度をたつばへきたり之を悉く王にさく けて王の婿とせり 王の婿とせり 王の婿とせり 王の婿とせり

ノ母七十節
 一母七十節
 二母七十節
 三母七十節
 四母七十節
 五母七十節
 六母七十節
 七母七十節
 八母七十節
 九母七十節
 十母七十節
 十一母七十節
 十二母七十節
 十三母七十節
 十四母七十節
 十五母七十節
 十六母七十節
 十七母七十節
 十八母七十節
 十九母七十節
 二十母七十節
 二十一母七十節
 二十二母七十節
 二十三母七十節
 二十四母七十節
 二十五母七十節
 二十六母七十節
 二十七母七十節
 二十八母七十節
 二十九母七十節
 三十母七十節
 三十一母七十節
 三十二母七十節
 三十三母七十節
 三十四母七十節
 三十五母七十節
 三十六母七十節
 三十七母七十節
 三十八母七十節
 三十九母七十節
 四十母七十節
 四十一母七十節
 四十二母七十節
 四十三母七十節
 四十四母七十節
 四十五母七十節
 四十六母七十節
 四十七母七十節
 四十八母七十節
 四十九母七十節
 五十母七十節

びテ妻せたり サウル見てエホバのダビデどもにいさすを知りぬきたサウルの女ミカルハダビデを
 愛せり サウルさらになすダビデを惡れサウル一生のわひだダビデの敵とされり 爰にベリシ人
 の諸伯攻きたりしがダビデかれらが攻めきたるおどにサウルの諸の臣僕よりハ多の功をたてしかバ貴名
 は亦た尊むる
 薩魯ル其子ヨナタンおよび諸の臣僕ハダビデをこらさんとするてを語れり されどサウ
 ルの子ヨナタンハ深くダビデを愛せしかバヨナタンハダビデハつづいていひけるハわが父サウル汝をこらさん
 てを求むのゆゑ亦今わがハ汝を令敬憚りて身を隱せ 我いでゆきて汝がなる野にて
 わが父の傍にたちわが父どもに汝の事を談ハんまゝにして我其事の如何なるを見て汝告ぐべし ヨナ
 タン其父サウルハわがハダビデを擡揚ていひけるハ王其僕ダビデにむかひて罪ををかすなかれ彼
 ハ故を罪をかさすたかれハ汝になす行爲はなだ善し またかれハ生命をかけてかのベリシ人
 をこらしたりまかしてエホバイスラエルの人々のためおほいある救を賜てこしたまふ汝見てよ方べ
 りまかするに何ふゆゑなく去てダビデをこらし無辜者の血を赤がして罪をかさんとするや サウルヨナ
 タンの言を聽いれサウル誓ひけるハエホバハいくわさかならずかれをこらさじ ヨナタンハダビデをよび
 てヨナタン其事をみなダビデハつづいて遂にダビデをサウルの詩につれきたりけれバダビデささのてどくサ
 ウルの前にをる 爰に再び戰争おこりぬダビデすあさちいでくベリシ人どたくひ大にかれらを斃
 せしかバかれら其まへを逃げざれり サウル手ハ投槍を執て室に坐する時エホバより出たる惡鬼これに
 のりつれり其時ダビデ乃ち手をもて琴を彈く サウル投槍をもてダビデを壁に刺とほさんと思たりし

4 母上五〇一
 5 母上五〇二
 6 母上五〇三
 7 母上五〇四
 8 母上五〇五
 9 母上五〇六
 10 母上五〇七
 11 母上五〇八
 12 母上五〇九
 13 母上五〇一〇
 14 母上五〇一一
 15 母上五〇一二
 16 母上五〇一三
 17 母上五〇一四
 18 母上五〇一五
 19 母上五〇一六
 20 母上五〇一七
 21 母上五〇一八
 22 母上五〇一九
 23 母上五〇二〇
 24 母上五〇二一
 25 母上五〇二二
 26 母上五〇二三
 27 母上五〇二四
 28 母上五〇二五
 29 母上五〇二六
 30 母上五〇二七
 31 母上五〇二八
 32 母上五〇二九
 33 母上五〇三〇
 34 母上五〇三一
 35 母上五〇三二
 36 母上五〇三三
 37 母上五〇三四
 38 母上五〇三五
 39 母上五〇三六
 40 母上五〇三七
 41 母上五〇三八
 42 母上五〇三九
 43 母上五〇四〇
 44 母上五〇四一
 45 母上五〇四二
 46 母上五〇四三
 47 母上五〇四四
 48 母上五〇四五
 49 母上五〇四六
 50 母上五〇四七
 51 母上五〇四八
 52 母上五〇四九
 53 母上五〇五〇
 54 母上五〇五一
 55 母上五〇五二
 56 母上五〇五三
 57 母上五〇五四
 58 母上五〇五五
 59 母上五〇五六
 60 母上五〇五七
 61 母上五〇五八
 62 母上五〇五九
 63 母上五〇六〇
 64 母上五〇六一
 65 母上五〇六二
 66 母上五〇六三
 67 母上五〇六四
 68 母上五〇六五
 69 母上五〇六六
 70 母上五〇六七
 71 母上五〇六八
 72 母上五〇六九
 73 母上五〇七〇
 74 母上五〇七一
 75 母上五〇七二
 76 母上五〇七三
 77 母上五〇七四
 78 母上五〇七五
 79 母上五〇七六
 80 母上五〇七七
 81 母上五〇七八
 82 母上五〇七九
 83 母上五〇八〇
 84 母上五〇八一
 85 母上五〇八二
 86 母上五〇八三
 87 母上五〇八四
 88 母上五〇八五
 89 母上五〇八六
 90 母上五〇八七
 91 母上五〇八八
 92 母上五〇八九
 93 母上五〇九〇
 94 母上五〇九一
 95 母上五〇九二
 96 母上五〇九三
 97 母上五〇九四
 98 母上五〇九五
 99 母上五〇九六
 100 母上五〇九七
 101 母上五〇九八
 102 母上五〇九九
 103 母上五〇一〇〇

がダビデサウルのまへを遣けれバ投槍を壁に衝突たりぬ サウル使者をダビデの家
 につかはしてかれを守らしめ朝およびてかれをこらさしめんとすダビデの妻ミカルダビデにつづいて
 ひけるハ若し今夜爾の命を援すバ明朝汝ハ斃されんとす ミカル即ち願よりダビデを縛らうじけれバ往て
 逃ざれり 期てミカル像をどりて其牀を置き山羊の毛の編物を其頭におき衣服をもて之を蔽はへり
 ウルダビデを執ふる使者をつかはしけれバミカルいふかれハ疾ありて サウル使者をつかしてダビデを
 見させんとていひけるハかれを牀のまゝ我にたづさへきたれ我をこらさん 使者いりて見たるに牀
 には像ありて其下に山羊の毛の編物ありき サウルいひけるハなんぞかく我をあそびてわが
 敵を逃じやりしやミカルサウルおこたへけるハ彼我にいり我をえなちてざらしめよ 然らば我故をこ
 るさん 且ダビデにびざりてラマにゆきサウルの許おたりてサウルがおのれおほせしこととてとて
 ぞくつげたりまかしてダビデとサウルハゆきてナヨチおすめり サウルに告ぐる者ありていふ禮よダビ
 デハラマのナヨチにをると サウル乃ちダビデを執ふる使者をつかして彼等預言者の一群の預言し
 をりてサウルが其中の長とありて立てるを見るにおよび神の靈サウルの使者にのぞみて彼等もまた預
 言せり 人々これ告けれバサウル他の使者を遣しけるにかれらも亦預言せしかバサウルまた三度使者
 を遣てしけるが彼等もまた預言せり 是おいてサウルもまたラマにゆきけるがセカの大井にいたれる
 時間ていひけるハサウルとダビデハ何處ををるや答ていふラマのナヨチにをる サウルかしてにゆき
 てラマのナヨチにいたりけるに神の靈また彼にのぞみて彼ラマのナヨチにいたるまで歩きつ預言せり
 彼もまた其衣服をぬぎて同くサウルのまへに預言し其一日一夜裸体にて小臥たり是故ハ人々サウ

1 母上五〇九
 2 母上五一〇
 3 母上五一一
 4 母上五一二
 5 母上五一三
 6 母上五一四
 7 母上五一五
 8 母上五一六
 9 母上五一七
 10 母上五一八
 11 母上五一九
 12 母上五二〇
 13 母上五二一
 14 母上五二二
 15 母上五二三
 16 母上五二四
 17 母上五二五
 18 母上五二六
 19 母上五二七
 20 母上五二八
 21 母上五二九
 22 母上五三〇
 23 母上五三一
 24 母上五三二
 25 母上五三三
 26 母上五三四
 27 母上五三五
 28 母上五三六
 29 母上五三七
 30 母上五三八
 31 母上五三九
 32 母上五四〇
 33 母上五四一
 34 母上五四二
 35 母上五四三
 36 母上五四四
 37 母上五四五
 38 母上五四六
 39 母上五四七
 40 母上五四八
 41 母上五四九
 42 母上五五〇
 43 母上五五一
 44 母上五五二
 45 母上五五三
 46 母上五五四
 47 母上五五五
 48 母上五五六
 49 母上五五七
 50 母上五五八
 51 母上五五九
 52 母上五六〇
 53 母上五六一
 54 母上五六二
 55 母上五六三
 56 母上五六四
 57 母上五六五
 58 母上五六六
 59 母上五六七
 60 母上五六八
 61 母上五六九
 62 母上五七〇
 63 母上五七一
 64 母上五七二
 65 母上五七三
 66 母上五七四
 67 母上五七五
 68 母上五七六
 69 母上五七七
 70 母上五七八
 71 母上五七九
 72 母上五八〇
 73 母上五八一
 74 母上五八二
 75 母上五八三
 76 母上五八四
 77 母上五八五
 78 母上五八六
 79 母上五八七
 80 母上五八八
 81 母上五八九
 82 母上五九〇
 83 母上五九一
 84 母上五九二
 85 母上五九三
 86 母上五九四
 87 母上五九五
 88 母上五九六
 89 母上五九七
 90 母上五九八
 91 母上五九九
 92 母上六〇〇
 93 母上六〇一
 94 母上六〇二
 95 母上六〇三
 96 母上六〇四
 97 母上六〇五
 98 母上六〇六
 99 母上六〇七
 100 母上六〇八
 101 母上六〇九
 102 母上六一〇
 103 母上六一一
 104 母上六一二
 105 母上六一三
 106 母上六一四
 107 母上六一五
 108 母上六一六
 109 母上六一七
 110 母上六一八
 111 母上六一九
 112 母上六二〇
 113 母上六二一
 114 母上六二二
 115 母上六二三
 116 母上六二四
 117 母上六二五
 118 母上六二六
 119 母上六二七
 120 母上六二八
 121 母上六二九
 122 母上六三〇
 123 母上六三一
 124 母上六三二
 125 母上六三三
 126 母上六三四
 127 母上六三五
 128 母上六三六
 129 母上六三七
 130 母上六三八
 131 母上六三九
 132 母上六四〇
 133 母上六四一
 134 母上六四二
 135 母上六四三
 136 母上六四四
 137 母上六四五
 138 母上六四六
 139 母上六四七
 140 母上六四八
 141 母上六四九
 142 母上六五〇
 143 母上六五一
 144 母上六五二
 145 母上六五三
 146 母上六五四
 147 母上六五五
 148 母上六五六
 149 母上六五七
 150 母上六五八
 151 母上六五九
 152 母上六六〇
 153 母上六六一
 154 母上六六二
 155 母上六六三
 156 母上六六四
 157 母上六六五
 158 母上六六六
 159 母上六六七
 160 母上六六八
 161 母上六六九
 162 母上六七〇
 163 母上六七一
 164 母上六七二
 165 母上六七三
 166 母上六七四
 167 母上六七五
 168 母上六七六
 169 母上六七七
 170 母上六七八
 171 母上六七九
 172 母上七八〇
 173 母上七八一
 174 母上七八二
 175 母上七八三
 176 母上七八四
 177 母上七八五
 178 母上七八六
 179 母上七八七
 180 母上七八八
 181 母上七八九
 182 母上七九〇
 183 母上七九一
 184 母上七九二
 185 母上七九三
 186 母上七九四
 187 母上七九五
 188 母上七九六
 189 母上七九七
 190 母上七九八
 191 母上七九九
 192 母上八〇〇
 193 母上八〇一
 194 母上八〇二
 195 母上八〇三
 196 母上八〇四
 197 母上八〇五
 198 母上八〇六
 199 母上八〇七
 200 母上八〇八
 201 母上八〇九
 202 母上八一〇
 203 母上八一〇
 204 母上八一〇

1 母五〇九十五

2 母五〇九十二

3 母五〇九一

4 母五〇八八

5 母五〇八五

6 母五〇八二

7 母五〇七九

8 母五〇七六

1 母五〇九十五
2 母五〇九二
3 母五〇九一
4 母五〇八八
5 母五〇八五
6 母五〇八二
7 母五〇七九
8 母五〇七六

ルもまた預言者のうちにあるかといふ
ダビデのナヨチより逃ぎたりてヨナタンにいひけるハ我何をなす何のあしき事あり汝
の父のまへに何の罪を得てか彼わが命を求むるヨナタンかまにいひけるハ汝挾て殺さるゝことあらじ
禱ふわが父の事の大いなるも小なるも我わがつげしてなすことあしわが父なすこの事を我わかくさん
やこの事しからずダビデまた誓ひていひけるハ汝の父必ずわが汝のまへに恩恵をうるを知る是をもて
かれ思へらく恐らくハヨナタン悲むべけれどこの事をかれにまらしむべからずと云かれどもエホバの
くまたなちの靈魂といくわれ之死をさるゝこと只一步のみヨナタンダビデにいひけるハ余が父の必
にをねがふか我爾のためわが之をなさんとダビデヨナタンにいひけるハ明日ハ月朔なれば我王どもに
食につかざるべからず然ども我をゆるして去らしめ三日の晩まで野に隠るゝことを乞はしめよ若汝の父
まことに我をもどめなば其財言ハダビデ切に其邑ヘラヘムははせゆかんことを我わ請り其ハ彼處に全
家の滅察われなかりと彼もよし善しといへし僕やすからんされど彼もよし甚しく怒らば彼の害をく之人
と決しを知れ汝エホバのまへに僕と契約をむすびたれば願くハ僕に恩をばとせ然も若我に悪き事
らハ汝自ら我をこそらせ何今我を汝の父引ゆべけんやヨナタンにいひけるハ其事かあらず汝にわら
され我わが父の害を汝わく之人と決るを去らば必ず之を汝わづげんダビデヨナタンにいひけるハ若
し汝の父荒々しく汝にきたる時ハ誰か其事を我に告ぐべきやヨナタンダビデにいひけるハ來れ我ら
野にいでゆかんは俱に野にいでゆけり云りしてヨナタンダビデにいひけるハイスラエルの神エホバよ
明日か明後日の今で我わが父を窺ひて事のダビデのために善きを見なばら人を汝亦遣はして告しらす

9 母五〇九三

10 母五〇九〇

11 母五〇八七

12 母五〇八四

13 母五〇八一

14 母五〇七八

15 母五〇七五

16 母五〇七二

17 母五〇六九

18 母五〇六六

9 母五〇九三
10 母五〇九〇
11 母五〇八七
12 母五〇八四
13 母五〇八一
14 母五〇七八
15 母五〇七五
16 母五〇七二
17 母五〇六九
18 母五〇六六
19 母五〇六三
20 母五〇六〇
21 母五〇五七
22 母五〇五四
23 母五〇五一
24 母五〇四八
25 母五〇四五
26 母五〇四二
27 母五〇三九
28 母五〇三六
29 母五〇三三
30 母五〇三〇
31 母五〇二七
32 母五〇二四
33 母五〇二一
34 母五〇一八
35 母五〇一五
36 母五〇一二
37 母五〇〇九
38 母五〇〇六
39 母五〇〇三
40 母五〇〇〇

ナタンサウルわてたへけるハダビデ切ハベラレムハわゆかんことを我わてひて曰けるハ ねがてくハ我
の座なほ座しサウル其子ヨナタンいひけるハ何ゆゑにエサイの子ハ昨日も今日も食を來さざるやヨ
あてりしならん彼さよから赤定て潔からずと思ひたればなり 明日すなえち月の一日におよびてダビデ
アツルサウルの側に坐すダビデの座ハむなし され其日ハサウル何をもしぎりき其ハ何事か彼
れ月朔なればなりけれ王坐して食を就く 即ち王ハ常のごとく壁よりて座を占むヨナタン立あがり
汝と我どかたれることわつてハ願はくハエホバ恒に汝と我との間をいませとダビデ即ち野わかく
なり され若し我少年に視よ矢ハ汝の彼旁にありといはば汝さるべしエホバ汝をさらしめんなり
ホ視よ矢ハ汝の此旁あり其を取て曰べんやきたるべしエホバハ生く汝安くして何もなかるべけれ
の側に三本の矢をはなれん 云かしてゆきて矢をたづぬよといひて童子をつかすべし我も故に童子
下り嘗てかの事の日に隠れたるところに至りてエセルの石の傍に居るべし 我の射るごとく去て其石
ダビデにいひけるハ明日ハ月朔なるの汝の座空かるべけれ汝求めらるべし 汝三日とままりて速うに
たびダビデに誓ひしむかれを愛すればなり即ちおのれの生命を愛するごとく彼を愛せり またヨナタン
ヨナタンダビデの家と契約をむすぶエホバ之に願てダビデの敵を罰したまへり 云かしてヨナタン
ダの敵を悉く地の表より絶つざりたまふ時にもまた汝わが家を永く汝の恩にぞおかしむるあかれ
どもにいませ 汝只わが生るのみだエホバの恩を我にまめて死さらしむるのみならず エホバダビ
これを告げしらせて汝をにがし汝を安らかににさらしめ願くハエホバわが父どもに坐せしめて汝
す心エホバヨナタンに斯なしまた重て斯くあしたまへ され若しわが父汝に害をく之人と欲せば我

をゆるしてゆかしむわが家邑かて祭をなすわよりわが兄我わきたることを命せり故わ我もして汝のまへ
 をゆるしてゆかしむわが家邑かて祭をなすわよりわが兄我わきたることを命せり故わ我もして汝のまへ
 小め々みをとれたるならんれが之ハ我をゆるして去をゆめ兄弟をみることを得さしむよと是故わかれり王
 の席お泰らざるなり サルヨサッおむかひて怒りを發しかれにいひける汝り曲り且悖れる婦の子
 あり我わお汝がエサの子を簡みて汝の身をはつかしめまた汝の母の辱を辱まむことを知さらんや
 エサの子の此世わながらるあひたり汝汝の位固くたつを得ず是故に今人をつかはして彼をわが許
 に引きたれ彼り死べき者なり ヨナツバツサウカサルお對てにいひける汝がなほより殺さるべきか何
 をなしたるやと こくお給いてサウルヨナツバツを撃たんとて投槍をさしわげたりヨナツバツすかて其父の
 ダビデを殺さんぞ決しをなされり かてヨナツバツ烈しく怒りて席を立ち月の二日わの食をなさり各其
 ひ其父のダビデをばつかしめしによりてダビデのためお愛ひたれり 翌朝ヨナツバツ小童子を從が
 へダビデと稱せし時刻わ野にいのでゆき 童おひひけるわ走りて我はかつ矢をたげぬよと童子はしる時ヨ
 ナツバツ矢を彼のさきお發てり 童子がヨナツバツの發ちたる矢のどろわいたれる時ヨナツバツ童子のうし
 うに呼そりていふ矢汝のさきにあるわらまや ヨナツバツまた童子のうしおまよばりてにいひける
 甚かにせよ急げ止まるかかれヨナツバツの童子矢をひろひわつめて其主人のもどにかへる されど童子
 何をも知さずヨナツバツとダビデ其事をわしたるのみ かてヨナツバツ其武器を童子に授てにいひけ
 る往け之れを邑お携へよと 童子すなはち往けり時ダビデ石の傍より立ちあがり地おふして三たび
 拜せりまかしてふたり互に挨拶してたふひお響くダビデ殊はなはだし ヨナツバツダビデおひける
 安じて往け我ら二人ともお玉おバの名お誓ひて願くハニバ恒わ我ど汝のあひだわ坐し我が子孫ど汝の

9 母上六十卷五十二節
 三卷五十二節
 A 母上十卷十一
 B 母上十卷十一
 C 母上十卷十一

子孫のあひだにいそせといへりダビデすあはちたつて去るヨナツバツいりぬ
 ひけるい汝をふお編かして誰も汝ともならざるや 2 ダビデ祭司アヒメレクかひん王我に一の事を命じ
 て我にいんが汝を遣はずとてこの事およびわが汝に命じたる所にいついて何をも人にまらざるなかれ
 2 我某處に我少者を出おけり いま何か汝の手おあるや我手に五のペッか或ハなほくてもある所を興よ
 祭司ダビデお對てにいひける日常のペッハわが手おあはされど若し少者婦女をなわ慎みておりしならべ
 2 聖きペツあるなりと 2 ダビデ祭司お對てにいひけるハ實にわがいでしより此三日ハ婦女われらにちかつ
 かす且少者等の器ハ潔し又ペツ日常の物のごとし今日潔く深きペツおわかれハ殊に然と 祭司かれお聖きペ
 ヲを興たり其ハかして供前のペツの外ハペツ无りけれをかり即ち其ハペツ下る日に熱きペツをさぐげ
 2 人として之をエホバのまへより取さざるなり 其日かしておサウルの僕一人留められてエホバのまへにお
 り其名を「ピグといふ」人にしてサウルの牧者の長あり 2 ダビデまたアヒメレクわいふ此に汝の手
 2 槍か劍あらぬか王の事登なるによりて我ハ刃も武器も携へざりして 祭司にいひけるい汝の「エラ」の谷に
 2 て殺したるベリエテアゴラの劍布お裏みてエホバの後にあり汝もし之をどらんとあまはと取れ此に
 2 はかの劍なしてダビデにいけるハそれにまざるものなし我にわたへよと 2 ダビデ其日サウルのをかて
 2 立てダビデの王アキンのまへに逃げゆきぬ アキンの臣僕アキニお白けるハ此ハ其地の王ダビデおある
 2 すや人々舞蹈のうちにこの人のことを歌ひわひてサウルの手をうちてろしダビデハ萬をうちてついでい
 2 しておらまや 2 ダビデの言を心に藏め深くガラの王アキンを罵る 人々のまへにて伴て其氣を變へ

4 母上四卷三十二節
 1 母上九卷五十二節
 2 母上十卷
 3 母上十卷
 4 母上十卷
 5 母上十卷
 6 母上十卷
 7 母上十卷
 8 母上十卷
 9 母上十卷
 10 母上十卷
 11 母上十卷
 12 母上十卷